

1. 水道用バルブ類の規格について

1.1 規格の概要

水道用バルブ類には、次の日本水道協会規格・日本産業規格及び水道バルブ工業会規格がある。

JWWA B 103 : 2019	水道用地下式消火栓 ^{a)}
JWWA B 120 : 2017	水道用ソフトシール仕切弁 ^{a), b)}
JWWA B 121 : 2020	水道用大口径バタフライ弁 ^{a)}
JWWA B 122 : 2020	水道用ダクタイル鋳鉄(メタルシート)仕切弁 ^{a)}
JWWA B 126 : 2019	水道用補修弁 ^{a)}
JWWA B 131 : 2013	水道用歯車付仕切弁 ^{a)}
JWWA B 135 : 2019	水道用ボール式単口消火栓 ^{a)}
JWWA B 137 : 2019	水道用急速空気弁 ^{a)}
JWWA B 138 : 2020	水道用バタフライ弁 ^{a)}
JWWA Z 103 : 2019	水道用バルブのキャップ ^{a)}
JIS B 2062 : 2018	水配管用仕切弁 ^{a)}
JWWA 102 : 1990	水道用仕切弁操作トルク計算基準

注^{a)} 本冊子に規格品の概要を収録(規格の詳細は、各規格を参照ください)。

なお、各バルブの質量を記載しているが、実際の製品の質量は、会員会社により違いがあるので、ここに記載した質量は「参考」である。また、この質量は規格において規定されているものではない。

b) 日本水道協会規格である JWWA B 120 水道用ソフトシール仕切弁は、2023年6月現在規格改正中であり、現状の規格を掲載している。

1.2 水道用バルブ類の JWWA 規格改正について

公益社団法人 日本水道協会（以下「日本水道協会」という）は、水道用バルブ類の **JWWA** 規格について平成 29 年から令和 2 年にかけて 9 規格の改正を実施した。

主な内容は、

1. 近年、バルブの外面塗装は内面と同様に、耐久性に優れたエポキシ樹脂粉体塗装が一般的となっており、規格で規定している塗装は、現状にそぐわなくなっていたため、現状に即した規定とした。
2. 主要部品に規格で規定されたもの以外の材料が使用されるようになっているため、その材料を追加した。
3. **JWWA B 120** 水道用ソフトシール仕切弁の GX 形に、呼び径 300, 400 を追加した。

これらの改正規格の内容を抜粋し、箇条 2 で紹介する。